

少人数学級の実現で

どの子どもも大切にされる教育を

高石市立の小中学校で 35人以下学級を求める署名 ご協力お願いします



9月2日：市民学習会の様子

ドイツでは
40人学級は
『不可能』

「インクルーシブ教育を日本より数年早く進めているドイツでは33人学級が最大で平均すると25学級だそうです。1クラス42人の学級があることを伝えると、『それは不可能』と言われました。」（職場要求アンケート・自由記述より）

「子どもと教育を守る高石市民の会」（泉北教組も構成団体）は、「高石市立の小中学校で35人以下学級を実現する請願署名」運動を始めました。12月の高石市議会に提出し、その実現を求めます。一緒に、力合わせて取り組みましょう。

市民学習会で講師の山口さん（大阪教育文化センター）も「当時、学力世界一と言われたフィンランドに行き、そこで『日本のクラスは40人』と言うと、国家教育委員会の人から『クレイジー』と言われた。」と話されました。

また、山口さんは、「欧米各国では、
◇アメリカ30人、
◇イギリス 30人
◇フランス 17〜20人
が学級定員」であることも紹介されました。

「グローバル化」と言うのなら、学級定数も「グローバル化」して下さい

大変な高石市の状況

今年度、40人を超えている学級		
学校名	学年	1学級の人数
高石小学校	4年生(1学級)	43人
高橋小学校	6年生(2学級)	42人
高橋小学校	6年生(2学級)	42人
取石中学校	2年生(4学級)	41人
高石中学校	3年生(6学級)	41人
高南中学校	3年生(4学級)	42人



35人以下学級の制度が実現すれば、上記の他に右記の学校・学年が35人以下学級になります。

40人を超える学級では――

変換テストを授業時間内で終わらせることができない、特別教室の机、椅子、机やiPadなどの数が足りない。（大阪府教員）

少人数学級では――

かけ算の九九を1時間2回ずつ習って覚えられる。算学の授業でも、授業の中で全員のノートを見てまわることができる。（東京府教員）

子どもたちも、先生との距離が近いので、声も聞いて、集中して聞いていました。子どもの目線や表情の変化に気づける距離って大切だと感じました。（福岡県教員）

- 高石小学校 6年生 4・5・6年生
 - 高橋小学校 4年生
 - 高南小学校 3年生
 - 加茂小学校 5年生
 - 高石中学校 1年生
 - 高石中学校 1年生
- （今年度35人以上の学級）

市町村名	対象学年	現行年度	備考
高石市	小3	2004年度	35人以下学級 小3には37.5時間の、小4には32.5時間の市費補助がつく
高石市	小3・小4	2007年度	
高石市	小3	2007年度	35人以下学級
高石市	小3	2011年度	35人以下学級（ダブルカウントあり）
高石市	小1～小3	2012年度	35人以下学級（ダブルカウントあり）
高石市	小1～小4	2013年度	35人以下学級（ダブルカウントあり）
高石市	小1～小6	2018年度	35人以下学級（ダブルカウントあり）、小3・小4に併設してはダブルカウントありの40人以下学級
高石市	小6	2012年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2013年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2014年度	35人以下学級
高石市	小3・小4	2015年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2016年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2017年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2018年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2019年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2020年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2021年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2022年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2023年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2024年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2025年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2026年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2027年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2028年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2029年度	35人以下学級
高石市	小3～小6	2030年度	35人以下学級

府教委も認める 少人数学級

【効果1】教師が一人ひとりの子どもの話をしっかりと聞くなど、きめ細やかな対応をすることで、子どもたちの安心感が増し、落ち着いた学校生活を送れるようになった結果、欠席者が減りました……

【効果2】保護者の多数は肯定的な評価をしめています。「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」や「保護者の相談に応じてくれる」の項目で、いずれも高い数値を示しており、教師の対応に満足している保護者の意識……

（「少人数学級編制」に係る研究・府小中学校課より）

学校現場は「待ったなし」

本来、学級定数改善は国の責任です。しかし、教育や学校に「待った」はありません。高石市での少人数学級実現が、大阪府や国を動かします。署名へのご協力お願いします。

国や大阪府に「教育条件の改善を求める署名」にも ご協力ください

泉北教組に加入して子どもと教育を守ろう！